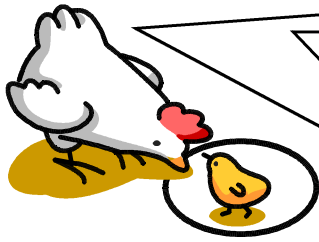


令和3年7月19日

八戸市立新井田小学校
同 父母と教師の会



啐啄

NO.745

☎ 25-5125

☎ 25-3150

夏休みに手伝いを!

校長 成田明彦



4月からの約4か月間を振り返ってみますと、運動会のように天候により日時を変更したものの予定通り実施できた行事もあれば、遠足や5学年の宿泊学習のように安全を最優先させたため内容を変更・縮小させて実施した行事もありましたが、保護者並びに地域の皆様方のお陰で、安全で安心できる学校づくりが推進できたことにお礼申し上げます。4月に実施できなかった参観日も6月には実施することができ、たくさんの保護者の皆様に授業でのお子さんの様子を見ていただくことができましたことを喜ばしく思っております。

22日から夏休みがスタートします。残念ながら今年度も水泳学習は実施できず、夏休み中のプール開放もありませんので、子どもたちにとっては楽しみが一つなくなりますが、充実した休みになるように保護者の皆様からも、安全面並びに宿題への計画的な取組に対し、声をかけていただきたいと存じます。

さて、学校では、「自信をもち、生き生きと活動できる子どもの育成」を目指し、一人一人の子どもが「自分は価値ある存在」「自分の行動が役立っている」「自分の行動や存在が認められている」と自覚できるように取り組んでいることをNO.742でお伝えしました。今月末に行われる保護者面談では、これから頑張してほしいことについてもお話するかもしれませんが、この4か月間のお子さんの頑張りをお伝えしますので、お子さんを褒めてやる気を引き出し、充実した夏休みにしていただきたいと思います。

また、夏休み中にお家でお子さんの頑張りをお褒めもらうきっかけにもらえるように「お手伝い」を宿題の一つに加えました。内容は欲張らず、簡単なことで構いません。毎朝玄関を掃く。夕食後食器を運ぶ。家族みんなの箸を用意し、ご飯を盛る。欲張らず続けられる手伝いにしてください。毎日継続できたことを褒めて自信をつけさせてほしいのです。「今日も頑張っているね。」「言われなくても進んでできてすごいね。」子どもたちが継続して頑張れるように、お家の人からの励ましの言葉がけをお願いします。完璧を求めなくても構いません。2～3日手伝えない日があっても大丈夫です。「2日続けてお手伝いを休んだからリフレッシュしたよね。今日からまた頑張ろう。」と声をかけてあげてください。子どものやる気スイッチが入れば、夏休み後も継続できるかもしれません。そうなればまた、褒める材料が増えるというものです。

宿題への計画的な取組とお手伝いの継続を通して、この夏休みが、お子さんの自己有用感を高めるよい機会になることを願っています。



「啐啄」(そったく): 「啐」は卵がかえる時、殻の中で雛がつつく音、
「啄」は母鶏が殻をかみ破ること。